

## 湖国でグランピングを

滋賀県内でグランピング施設が次々とオープンしている。独立性の高いコテージを中心に、琵琶湖を見渡せる立地やプライベートプール付きなど、施設も空間の使い方もぜいたくなのが特徴だ。

高島市内に開設されたグランピング施設はテント10棟のみ。直径7メートルの大型ドームテントや、ふたつの大型ドームテントを連結させた大人数対応の「コネクトドーム」、プールを備えたサファリテントもある。

甲賀市信楽町にこの秋オープンした施設は、コテージは5棟のみだが、プールやサウナもある。何より信楽高原の星空が魅力だ。

新型コロナウイルス感染の影響でキャンプの人气が高まっている。実際、ゆとりあるグランピング施設なら「密」を避けられるイメージがある。昔ながらのキャンプ場が豪華な施設に生まれ変わった例もある。

それにしても、湖国（滋賀県）ほどグランピング施設に適した地はないと思う。とにかく「空が広い」からだ。

滋賀といえば「琵琶湖しかない」と言われるが、それは間違い。琵琶湖は県面積のおよそ6分の1にすぎない。とはいえ、空が広いのは琵琶湖の存在ゆえだろう。大津市や草津市からは大阪へ1時間程度で通勤できるだけに、主要駅の周辺にはタワーマンションもできている。それでも、空は狭くない。

滋賀県東近江市には畳百畳分の大凧（たこ）を上げる伝統がある。何十人がかりで引っ張られ風を受けて大凧が舞い上がる湖東平野には、目に障る建物はほとんどない。

同市内には戦前、飛行場もあった。人びとは昔から空にさまざまな思いをはせてきた。広い空は想像力を解放する何かがあるのかもしれない。

ぜひ湖国のグランピング施設を訪ねて、解き放たれたひとときを味わってほしい。

京都新聞 滋賀本社編集部長 日比野敏陽



グランピング/ヒューチャーリゾート①



グランピング/ヒューチャーリゾート②